

# Water for Life Festival

第2回ウォーター・フォー・ライフ・フェスティバル

日時 **2005年11月16日(水)**

第1部 13:30~17:00 (13:00 開場)  
第2部 18:00~21:30 (17:30 開場)

会場 **文京シビックホール**

東京都文京区春日1丁目16番21号 <http://www.b-civichall.com/>

第1部前売券 **1,800円**(当日2,000円)

第2部前売券 **2,200円**(当日2,500円)

第1部・2部通し券 **3,500円**(当日4,000円)

主催 いのち **国際生命の水協会**

詳細はホームページ  
<http://www.hado.com>をご覧ください。

## 第1部

その1●映画『ストーンエイジ』監督・出演者舞台挨拶～上映  
その2●『EMOTOプロジェクト』発表(公開記者会見)  
その3●綾乃ひびき「生命(いのち)の水」歌唱

## 第2部

その1●瀬戸龍介&花世『水の詩』ライブコンサート  
その2●講演:アースウォーカー ポール・コールマン氏  
その3●講演:「ゼロ・エミッション」提唱者、ZERI代表  
グンター・パウリ氏  
その4●パネルディスカッション  
『あなたにとっての平和への歩き方とは?』  
—3人の平和運動実践者から学ぶ—  
グンター・パウリ氏×ポール・コールマン氏×江本勝氏  
その5●講演:『水からの伝言』著者、  
国際生命の水協会 会長 江本勝氏  
その6●『EMOTOプロジェクト』発表  
その7●祈りの実験  
その8●フィナーレ『水の詩』合唱

世界をフィールドに活動する3人の  
パネルディスカッションが実現!



「水からの伝言」著者  
国際生命の水協会 会長  
江本 勝氏



「ゼロ・エミッション」  
提唱者、ZERI代表  
グンター・パウリ氏



世界4万2000キロを  
歩いたアースウォーカー  
ポール・コールマン氏

## 映画「ストーンエイジ」上映

白鳥哲監督と  
主演俳優、黒田勇樹氏の  
舞台挨拶も!



「チケットぴあ」で購入(発売期間:10月16日から11月13日)

Pコードは「605-736」です。

- チケットぴあ店頭で購入  
各「チケットぴあ」のお店でお求めになれます。
- インターネット(@ぴあ)で購入  
<http://t.pia.co.jp/event.html>  
上記サイトでPコード「605-736」および必要事項を  
入力し、クレジットカードでお支払いください。

- コンビニエンスストアで購入  
店内の端末にPコード「605-736」を入力してご購入  
ください。
- チケットぴあ「Pコード予約電話」で購入  
Tel.0570-02-9966(10:00~23:30)  
自動音声の案内に従ってPコード「605-736」を入  
力し、予約番号を控えてください。

現金書留で購入(11月10日(木)必着)

●下記①~③を同封の上、現金書留にて下  
記あてにお送りください。

①代表者のお名前、電話番号、チケットの種類(第1部  
/第2部/1部・2部通し)、各枚数を記入したメモ②合  
計のチケット料金③郵便番号、住所、氏名を記入の上、  
430円切手(チケット郵送料)を貼付した返信用封筒

〒111-0052  
東京都台東区柳橋1-1-11 イーストサイドビル1F  
株式会社アイ・エイチ・エム内 国際生命の水協会  
「フェスティバルチケット」係

※各購入期限以降は下記へお問い合わせください。

お問い合わせ先 いのち **国際生命の水協会** TEL 03-3863-0860 FAX 03-3866-5353 E-mail iwlf@hado.com

講演とパネルディスカッション

『あなたにとっての平和への歩き方とは？』

— 3人の平和運動実践者から学ぶ —

『水からの伝言』の江本勝氏、『ゼロ・エミッション』のグンター・パウリ氏、世界4万2000キロを徒歩で旅しながら平和の植樹をつづけてきたポール・コールマン氏

— 3氏の活動や表現方法は異なるが、心や環境の平和を願い行動する一点でつながり合う。

その3氏の講演とパネル・ディスカッションがこの日はじめて実現する。

平和のメッセージは会場を訪れた人から家族に、友人に、そして世界に、広がっていくことだろう。



江本 勝氏  
MASARU EMOTO

『水からの伝言』著者  
国際生命の水協会 会長

1943年、横浜生まれ。1999年、自費出版した水の氷結晶写真集『水からの伝言』は、現在、世界26カ国で翻訳出版。ニューヨークタイムズでは著書2冊がロング・ベストセラーにランキング。「江本勝80日間世界ツアー」(2005年3月~6月)の講演回数は全46回、動員総数は1万8540人に達した。5月にはニューヨーク国連本部での講演、9月にはダライ・ラマ法王との面会を果たすなど、江本氏のメッセージは言葉や国境を越えて広がりを見せている。波動技術のパイオニアであり、日本に「波動」を広めた第一人者である。

現在 I. H. M. 総合研究所長、株式会社 I. H. M. 代表取締役会長、国際波動友の会会長、国際生命(いのち)の水協会会長。近著に『自分が変わる水の奇跡』(青春出版社)などがある。



グンター・パウリ氏  
GUNTER PAULI

『ゼロ・エミッション』  
提唱者、ZERI財団代表

1956年、ベルギー生まれ。1983年「世界で活躍する10人の青年」(青年商工会議所)、1991年「名誉ある役割を果たした世界の500人」(国連)、1994年「21世紀のリーダー」(世界経済フォーラム)の一人に選出される。1991~93年、世界初のエコロジカル工場、「エコバ社」を設立。1994~97年、東京の国連大学の学長顧問として「ゼロ・エミッション」構想を提唱し、啓蒙および実践活動をおこなう。1997年、国連開発計画とスイス政府の出資によりZERI財団を設立。1997~2000年、第1~4回ZERI世界会議を開催。著作に『第二の波』(共著、廣済堂)、『ゼロ・エミッション—持続可能な産業システムへの挑戦』(共編、ダイヤモンド社)、『アップサイジングの時代が来る—ゼロ・エミッションと雇用の創出』(朝日新聞社)などがある。



ポール・コールマン氏  
PAUL COLEMAN

世界4万2000キロを  
歩いたアース・ウォーカー

1954年イギリス、マンチェスター生まれ。イギリス商船の кок 或は運転手の仕事を経て、34歳のときアイスランド自転車一人旅に出る。このとき、自然環境保護活動に人生を捧げることを決意。92年のブラジル・リオでの「地球サミット」に参加するため、カナダ・トロントから2年間かけて1万5000 km を歩き、平和への願いをこめた植樹活動を開始。

この頃からアースウォーカーと呼ばれ始め、93年に国連Peace Messenger Initiativeとなる。

現在までに37の国と地域を徒歩で訪問し、徒歩累計距離は約4万2000kmにおおよぶ。植樹した樹木の数は600万本+∞。2004年4月にはHeart of Humanity賞(その前年の受賞者はダライ・ラマ法王)を受賞した。

《EMOTOプロジェクト》発表

江本勝氏は「未来を創造していく世界の子供たちに水のメッセージを伝えていくことが世界の平和につながる」という信念のもと、「絵本版『水からの伝言』」を制作、無償配布する計画を立てた。題して「EMOTOプロジェクト」。2015年までの10年間で世界人口の10%に相当する6億5千万人の子供たち(3歳~12歳)にこの絵本を配布する計画。その公開記者会見をかねた絵本の完成披露と計画発表がこの日、会場でおこなわれる。

映画『ストーンエイジ』が見せる波動の世界

物語は社会にうまく適合できないひきこもりの青年たちの交流に焦点が当てられている。白鳥監督自身、『水からの伝言』(江本勝著)の愛読者でもあり、「石がメッセージを伝えている」という経験をしたことからこの映画は生まれた。

「“ありがとう”と一言声をかけるだけでも、人も石も、自分も変わっていく…そんな気づきを与える映画にしたい。」(白鳥哲監督談)

●映画『ストーンエイジ』公式サイト  
<http://www.c-makes.com/stoneage/index.html>



瀬戸龍介・花世 「水の詩」ライブコンサート

日本人で初めてキャピトル・レコードと専属アーティスト契約をし、全世界同時にアルバム「EAST」を発表した瀬戸龍介氏。その父の才能を譲り受け、パークリー音楽大学時代から作詞、作曲を手がけ、シンガーとして活躍する花世氏。父娘ならではの息の合ったハーモニーは、聴く人のハートをみずみずしく満たしてくれることだろう。



瀬戸龍介



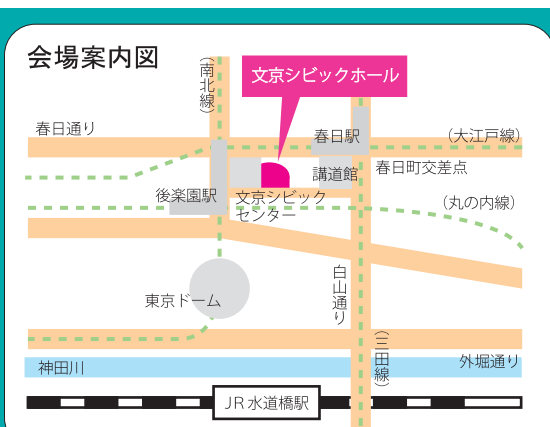
瀬戸花世

綾乃ひびき 歌唱『生命の水』

幼少期より歌に親しみ、童謡・唱歌、ミュージカルナンバー、シャンソン、オペラのアリアなど、幅広い音楽活動を展開。2003年11月、「ことだまの女神」でCDデビュー。2005年7月にリリースした「永遠(とわ)の風」が好評発売中。IHMアクアインストラクターの資格をもつ。



綾乃ひびき



- 東京メトロ 丸の内線・南北線 — 後楽園駅より徒歩3分
- 都営地下鉄 三田線・大江戸線 — 春日駅より徒歩3分
- JR中央・総武線 — 水道橋駅より徒歩8分